

ポロニーヤ国際絵本展
受賞絵本から
日・チェコ共作の
コミックまで

Chrudoš Valoušek | Michaela Kukovičová | Tereza Říčanová | Eva Volfová
Daniela Olejníková | Tereza Vostradovská | Klára Zahrádková
Lucie Lučanská | David Dolenský | Zuzana Bramborová | Nanako Ishida
Kotone Utsunomiya

チェコ絵本の作り方



ミハエラ・クコヴィチョヴァー「ジス・イズ・ブラハ」挿絵、2015年 ©Michaela Kukovičová

想いをのせて、
旅する絵本

Jak vzniká
česká
obrázková
kniha

2026年7月14日(火)ー9月27日(日)

開館時間：10:00ー17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日(ただし、7月20日(月・祝)、9月21日(月・祝)は開館、7月21日(火)、9月24日(木)は休館)

観覧料：一般1,200(960)円、大高生600(480)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方
ならびにその介護の方は各当日料金の半額

主催：芦屋市立美術博物館

企画制作：株式会社イデップ

後援：チェコ共和国大使館、チェコセンター東京、国立チェコ文学館、兵庫県、兵庫県教育委員会、
公益財団法人 兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、Kiss FM KOBE

協力：大丸芦屋店



チェコ共和国大使館



芦屋市立美術博物館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
TEL 0797-38-5432 www.ashiya-museum.jp

Jak vzniká česká obrázková kniha

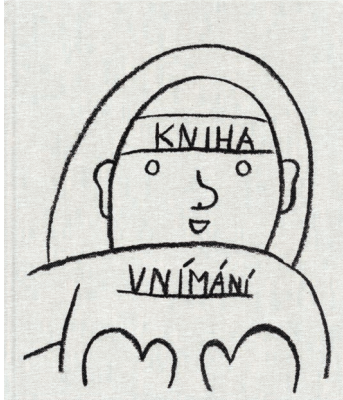
フルドシュ・ヴァロウシェク | ミハエラ・クコヴィチョヴァー | テレザ・ジーチャノヴァー
エヴァ・ヴォルフオヴァー | ダニエラ・オレイニーコヴァー | テレザ・ヴォストラドフスカ
クララ・ザフラードコヴァー | ルツィエ・ルチャンスカー | ダヴィド・ドレンスキー
ズザナ・ブランボロヴァー | 石田菜々子 | 宇都宮琴音

現代の絵本作家12名の作品や資料を中心に、約150点を展示

素朴さと洗練されたデザインで知られるチェコの絵本は、近年も魅力的な作品が次々と生み出されています。2023年には、特色や蛍光インクを用いた絵本『ミコ、キノコの世界の完全な情報誌』がポーロニャ国際絵本展ラガッツィ賞を受賞し、国際共同プロジェクトによるコミック制作など、その広がりは一層注目を集めています。本展では、貴重な絵本からチェコ絵本の歴史を振り返るとともに、近年、海外でも注目を集めている最新鋭のチェコの作家たちの創作とその絵本作りの魅力を、原画、リトグラフ、デッサン、制作資料、絵本、コミックなど多様な資料を通して紹介します。

ポーロニャ国際絵本展受賞絵本から
日・チェコ共作のコミックまで

チェコ絵本の作り方



1 ©Lucie Lučanská



2 ©David Dolenský



3 ©Kotone Utsunomiya



4 ©Daniela Olejníková, baobab



5 ©Klára Zahradková



6 ©Eva Volfová

関連イベント

講演会・ワークショップ

日時：9月5日(土)14:00-15:30(予定)
講師：ユライ・ホルヴァート(作家、アートディレクター)
会場：当館講義室
対象：80名(どなたでも)
*逐次通訳付

図書館司書による読み聞かせ「ミュージアム de おはなしの会」

日時：①7月14日(火)10:30-、11:30-
②8月22日(土)11:00-
*各回約30分
会場：①当館講義室 ②2階ホワイエ
対象：各回30名(3歳以上のどなたでも)
協力：芦屋市立図書館

ワークショップ「まちをつくろう」

日時：7月14日(火)13:00-16:00まで受付
講師：森 大三(美術家)
会場：当館1階ホール
対象：限定50名(3歳以上のどなたでも、随時受付、先着順)

予定は変更となる場合があります。
展覧会やイベント等の最新情報は
当館ホームページでご確認ください。

ボランティアスタッフによる鑑賞サポート

日時：会期中の毎週水曜日13:00-16:00
会場：当館展示室

トークフリーデー

展示室内で声の大きさを気にせず、作品について自由に会話をしながらご鑑賞いただけます。
日時：7月14日(火)および会期中の毎週水曜日(終日)

*参加費無料(ただし要観覧券)
*事前申し込み不要。直接会場へお越しください。

会期中のその他のイベント

芦屋市立図書館で、関連の絵本とチェコ周辺の国々に関する図書を展示します。

教育普及プログラム「まなびはくルーム」

ワークショップ「絵具をつくる」
日時：8月8日(土)14:00-16:00
講師：柴田正見(ホルベイン画材株式会社)
対象：10名(中学生以上) *要事前申込
講座「美術館を雑種にする」
日時：9月6日(日)14:00-15:30
講師：成相 肇(東京国立近代美術館主任研究員) 対象：80名(どなたでも)

びはく夏祭り 8月22日(土)

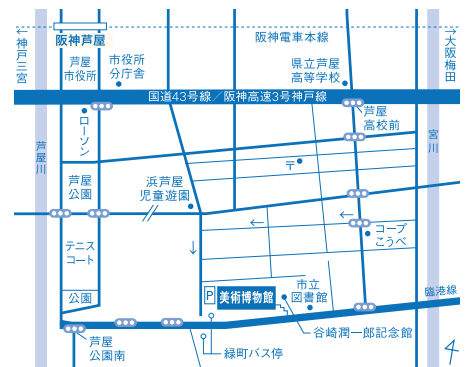
夏の連携企画 絵本の世界を楽しもう！

西宮市大谷記念美術館「2026イタリア・ポーロニャ国際絵本原画展」(8月22日-10月18日)と連携企画を行います。
◎上記展覧会の半券ご呈示で団体料金に割引します。また、オリジナルステッカーを先着300名にプレゼントします。(招待券は除く。会期中1枚につき1名様のみ1回有効。詳細はホームページをご確認ください)

芦屋&西宮 学芸員コラボトーク

①7月26日(日) 会場：芦屋市立美術博物館
②8月29日(土) 会場：西宮市大谷記念美術館 各回14:00-1時間程度

- ルツィエ・ルチャンスカー「知覚の書」、2022年
- ダヴィド・ドレンスキー「ポスターを掲げるポートレート」2020年頃
- 宇都宮琴音「ももちゃんのみならいまじよ」挿絵、2023年
- ダニエラ・オレイニーコヴァー「キノコの世界に関する総合誌」2023年
- クララ・ザフラードコヴァー「うまとへび」挿絵、2024年
- エヴァ・ヴォルフオヴァー「フリドリーナとアントニーナと小さなミーナ」挿絵、2019年



徒歩/阪神芦屋駅より南東へ約15分
阪急バス/阪神芦屋駅・JR芦屋駅・阪急芦屋川駅より阪急バス乗車、「緑町(美術博物館前)」停留所下車、徒歩3分
併設駐車場1時間無料

芦屋市立美術博物館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
Tel.0797-38-5432 ashiya-museum.jp

